

# 県立郡山高校教室棟（棟番号48）における施工不良について

## （１） 施工不良の概要

- ・ 郡山高校の耐震補強工事の実施中（平成26年7月28日）に、次の施工不良が判明しました。

箇所	施工不良の概要
教室棟（棟番号48）の塔屋南面の梁	耐震補強工事に際して、塔屋にRC耐震壁を設置するためサッシ及び仕上げ材（外壁吹き付け材及びモルタル）を撤去したところ、梁の下部がハツリ取られ梁の断面欠損と主筋（下端筋D19：3本）及びあばら筋（D10：31組・D13：16組）が切断されていることが判明。（1箇所）

### <既存建築物の概要>

所在地：大和郡山市城内町 地内  
建設年：昭和56年  
構造等：鉄筋コンクリート造 3階建て 延べ面積1,100㎡  
設計者：株式会社榎谷設計  
施工者：株式会社清水組建設（廃業）  
工事監理者：不明

### <耐震補強工事の概要>

工事概要：耐震補強工事の他、防水改修工事、外壁改修工事、内装改修工事等  
→校舎の桁行き方向に耐震ブレースを設置（北面2構面、南面4構面）、RC壁増設補強3箇所（塔屋2箇所・2F図書室）、RC壁による開口縮小補強2箇所（塔屋）、RC壁によるそで壁補強（1F保健室）1箇所  
工期：平成26年3月～平成26年9月  
設計者：株式会社 福本設計  
施工者：株式会社クラハラ  
（工事請負金額：54,371,520円）  
工事監理者：株式会社 京成設計

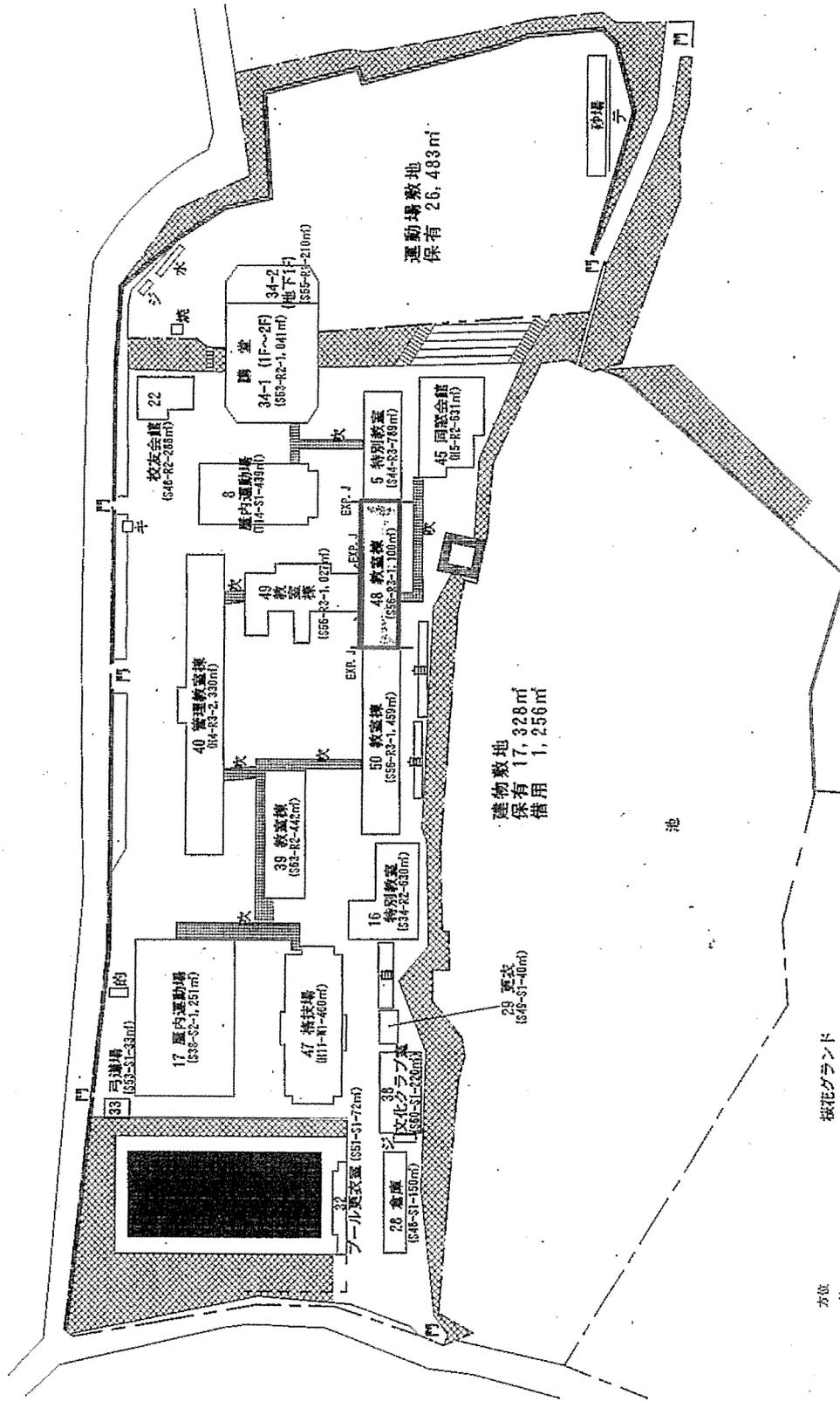
## （２） 今回の案件に係る経緯と現状

現地調査したところ、今回撤去したサッシが設計図通りの寸法で施工されていたこと及び塔屋の階高が設計図より、121mm（設計 3,300、現況 3,179）低いことが判明した。

これらのことから当時塔屋の階高を誤って施工したため、サッシを納める開口部の寸法が不足し、開口寸法に合わせてサッシを造り直すのではなく、梁をハツリ取ること、サッシを納めたと考えられる。

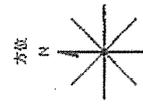
なお、塔屋の階高が121mm低いことについて、構造耐力上や施設利用面での問題が生じることは無い。

また、塔屋の他の梁においてレーダーで調査し、主筋及びあばら筋が健全であることを確認した。



郡山高校配置図

概略図



(北に矢印を付す)

